| 授業科目名：<br>地誌Ⅱ | 教員の免許状取得のための<br>必修科目 | 単位数：<br>2単位 | 担当教員名：<br>渡部　斎<br>担当形態：　単独 |
|---|---|---|---|
| 実務内容<br>（実務家教員の場合） | | | |
| 科　目 | 教科及び教科の指導法に関する科目（高等学校　地理歴史） | | |
| 施行規則に定める<br>科目区分又は事項等 | 教科に関する専門的事項<br>・地誌 | | |

「学位授与の方針」との関係

DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知）
DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）

授業のテーマ及び到達目標

・現代世界における諸地域の地誌的学習を通して、より一層世界の地理的な認識を深めることができる。
・地誌を学習し、諸要素から地域的特色を考察し、地域性を論じることができる。

授業の概要

・世界の地域的特色や歴史的背景に留意して、地誌学的な見方や考え方を学習する。
・現代世界の諸問題と身近な地域との関連にも重視して学習する。
・現代世界の諸地域が抱える地誌的な諸課題や身近な地域の関連性を探求し、事象を考察する。

授業計画

第１回：世界の自然環境・人文環境Ⅰ（自然環境）
第２回：世界の自然環境・人文環境Ⅱ（人文環境）
第３回：東アジアⅠ（地形と気候）
第４回：東アジアⅡ（日本）
第５回：東アジアⅢ（中国・大韓民国）
第６回：東南アジアⅠ（地形と気候）
第７回：東南アジアⅡ（ASEAN諸国）
第８回：南・西アジアⅠ（地形と気候）
第９回：南・西アジアⅡ（インド他・西アジア諸国）
第１０回：ヨーロパ・ロシアⅠ（地形と気候、民族・宗教・言語他）
第１１回：ヨーロパ・ロシアⅡ（EU）
第１２回：ヨーロパ・ロシアⅢ（ロシアとその周辺）
第１３回：地誌学とは・地誌学あゆみ（まとめ）
第１４回：身近な地域の地誌
第１５回：環境教育・防災教育
科目修得試験

スクーリングでの学修

テキスト

辰巳　勝他（2016）『図説　世界の地誌　改訂版』　古今書院

参考書・参考資料等

武井　正明他（2015）『地理の完成』　山川出版

学生に対する評価

レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）